

私が思う「フロアコンセプト」について取りまとめ

(7月30日町民ワークショップ)

1. 図書館エントランス

- ①バリアフリー、ユニバーサルデザインの観点からも、1階部分を駐車場（ピロティ形式）にするのではなく、建物を1階から作って欲しい。（後述する、地下室利用の点からも）
- ②あまり高級感、格式張った感じではなく、親しみやすい、多少ワイワイガヤガヤしているイメージ（大人だけでなく子どもが利用しやすい）がよいです。
- ③傘立ての数は十分に。簡易な鍵付きのタイプで、館内に濡れた傘を持ち込まなくていいように。
- ④コインが戻るタイプのコインロッカーを設置し、大きな荷物は預ける。利便性の向上と本の盗難防止。
- ⑤自然光の入る明るいエントランス。
- ⑥「遊び心のあるゆかいなワクワク感のあるエントランス」
 - ☆ICT（ペッパー君）などによるレファレンスサービスの充実
 - ☆花と緑の一杯の感動と憩いのエントランス
- ⑦延床面積を抑える必要があると聞いているので、エントランスが狭いとカッコ悪いけど、エントランスを広く取り過ぎて、中のスペースがごちゃごちゃするようならば本末転倒と考える。全体のバランスを見て決定すべき。
- ⑧新刊書の紹介、テーマ毎の本の紹介

2. 一般開架スペース

- ①蔵書をたくさん置くことも大事ですが、これからはダウンロードなどによるデータレンタル、オンライン貸出が主流になると思われますので、本の（見た目の）数量の多さをアピールする必要はないと思いますので、書架を高くして光を遮るのではなく、あまり高い棚にせず、全体が明るくなるようにしていただきたいです。（そのためには天井もやや高めだといいます）暗いというイメージは、役所や病院もですが、利用者の足を遠のかせると思います。（参考：↓山口市立中央図書館）



- ②とにかく座る場所を多くして欲しい。
- ③本がどこにあるか探すためにパソコンを設置しているが、台数を増やして欲しい。
- ④明るいスペースにして欲しい。
- ⑤収納冊数の問題もあると思うが、低い位置の棚は本が探しづらい。
- ⑥「息吹いぶきのスペース」憩い、出会いの場、一生涯成長のスペース
 - ☆自然の木の香りに癒やされながら、頭と心を解き放す瞬間。ひとときをくつろげるスペース。
 - ☆誰もが日常のあわただしい生活から開放され、自分を自分らしく、自分のために使える大切な時間と空間。
- ⑦静かで落ち着いた場所

3. 児童開架スペース

多良見図書館のように、秘密の地下に降りて行けるような気分を子どもたちが楽しめる、遊び心の

ある、わくわくするような仕掛けがあるといいと思います。読み聞かせスペースでもいいし、遊ぶスペースでもいいと思います。地下を使えば容積率の上限より上回った床面積が使えると思います。

(参考：多良見図書館の地下スペース→)



- ②授乳室 2 部屋、おむつ交換台 2 台、ベビーカー貸出、(ミルク調乳用のお湯、手洗い用シンク、ベビーベッドなどがあると助かります)防音ガラスどんな感じが気になります。
- ③授乳室は男性も使えるように。
- ④「おはなし会を実施していないときのスペースの一般開放」賛成です。大人も絵本を読みたいし、足を伸ばして座りたい人も多いはず。
- ⑤「知的感覚と発想(想像性)(創造力)を育む場」、「笑顔いっぱいのがたりの部屋」
 - ☆月に 1、2 回おはなし会を開催
 - ☆外国人と共に English シャワーを浴びよう広場(英語で 0 才～ 3 才に読み聞かせを！)

※0才～2、3才迄の乳幼児は、抵抗なく English で本の読み聞かせをしてもスムーズに耳に入ってきます。その時期は、数カ国語を聞き取れる能力があります。

⑥一般的に図書館では静かにしないと浮いてしまうので、子ども連れだと利用しづらいと思われる。できるならば、児童書の部屋を主とする部屋と別にして、騒いでも良いようにできたらと考える。

⑦のびのびとゆったりとくつろげる場

4. 視聴覚スペース

①目の不自由な方が音・音楽を楽しめるように、ネットカフェのようにヘッドホンを常備し、周囲を気にせずソフトを楽しめるようにして欲しいです。今後も新型コロナのような感染症が蔓延しないとも限らないことや、現代の人々はプライバシーを気にすることもあるので、ネットカフェのような完全個室とはいかないまでも、あまりオープンではなく、ある程度パーテーション等で区切った作りが望ましいと思います。(参考：↓沖縄市立図書館の視聴覚スペース)



②現図書館では使ったことがない（長与町在住歴28年）。機材が古いのだろうという先入観があるからか？

③DVDを借りる一般開架スペースと視聴覚スペースを隣接させて欲しい。

④「頭と心の洗濯のスペース」

☆障害のある「盲ろう者」なども快適に利用できるような合理性配慮した視聴覚ルーム。

「点字、文字スーパー、字幕など」

☆プロジェクタなどの館内貸出必須（町民のために）

⑤数十年後には一人一端末の時代が来ると思われるので、Wi-Fi環境さえ充実すれば、電子図書館から動画や本の朗読などの利用ができるようになると思われれます。障害者の方のためのものなら必要と思いますが、健常者のための視聴覚スペースは必要ないと考える。

⑥視覚や聴覚等に障害のある方に配慮したコーナーが欲しい。

5. 閲覧室

①せっかくの新しい図書館ですので、広くて明るい閲覧スペースをとりたいところですが、あまり空間デザインを優先し過ぎて広く取り過ぎるとその分蔵書が置けなくなったり他のスペースを削らないといけなくなったり、かえって肝心な実用性が下がったりすると思いますので、現在の図書利用者数などに鑑みた、過度に広すぎないものでいいと思います。ただ、自然光を利用した、無機的・事務的ではない明るいスペースにはしていただきたいです。

(参考：東京経済大学図書館→)



- ②「視聴覚スペース」にも関連すると思うが、ブースを可動式にすれば、災害時等に移動させて広いスペースが確保できるのでは。
- ③学生は特に勉強するスペースの要望が多いと思う。
- ④閲覧室と一般開架スペースを隣接させて欲しい。
- ⑤「個人の尊重フリールーム」
 - ☆パソコンやインターネットのフリーWi-Fi も必須。
 - ☆障害者のための使いやすいデスク 1台「上下可動式デスク」の設置。
- ⑥個々が使用できるイスとテーブル。ネット環境を配備。

6. グループ学習室

- ①こちらについては、どの程度の需要があるか、どの程度スペースが平均的かわかりませんが、遠からず長与町公民館も図書館と別に更新が必要となると思いますので、そちらに役割をもたせればいいのかと思います。図書館にはそれほど大きく、また多数は要らないのではないかと思います。できれば和室と洋室一つずつはある方がいいかと思います。読書会などが行えたらいいですね。
- ②防音ガラスの設置の部屋、実現したら嬉しいです。
- ③アップライトのピアノがあったらもっと嬉しい。
- ④「静と動の融合」
 - ☆静かに勉強できる学習室 and 共に学びの場
 - ☆声を出し合い、発表、ミニ講演会などができる
 - ☆知性を高め合い、教養を深め合う共に生きるルーム

☆パソコンやインターネットのフリーWi-Fi も必須。

☆プロジェクタのフリー館内貸出必須。

- ⑤中高生の利用を想定したものと考えますが、実際に中学生や高校生や大学生の意見を聞くことが大事だと考えます。静かにしなくてはいけないスペースか、少しくらいのおしゃべりは許されるかなどは、大人が考えるより、実際に使う人に意見を聞いて欲しいです。

7. ボランティアルーム

- ①こちらにつきましても、不勉強で申し訳ありませんがどの程度の設備が必要か分かりません。整備検討委員の皆様にご検討していただければと思います。
- ②新図書館でどの程度ボランティアの協働が行われるかはわからないが、簡易な給湯設備、流し台などがあり、あまり目的を限定しない部屋である方が良いと思う。現図書館でどこにあり、どのように使われているのかよくわからないので。
- ③「共生と協働のフロア」
- ☆他人のために働くことは、やがて自分のためになる。
 - ☆価値観の共有と認め合い。
 - ☆尊厳を大切にできるルーム
 - ☆いきがいを持てる時間
- ④現在のボランティアの方々から意見を吸い上げて欲しいです。

8. 他に必要なスペースおよびフロアコンセプト

- ①せっかくなので、長与町があまり力を入れているとは思われない「音楽」「演劇」などの文化を振興するための、多良見図書館の海のホールのような小ホールを作り、町民が気軽に練習や発表ができるようにしてはどうでしょうか。こちらも、地下・半地下を使えば容積率を緩和できると思います。
- ②コインロッカー、飲食(持ち込みの)ができるスペースがほしいです。
- ③曲線を多用したデザイン。
- ④十分に換気ができ、できれば自然光が多く入る図書館。パッシブソーラーシステムはいいと思う。冬場の図書館は足下が寒い。太陽熱利用の床暖房までは望みすぎか・・・
- ⑤町民の作品を展示するスペース(小さな棚状)。エントランスにあってもいいかも。
- ⑥全てのスペースが緩やかにつながるイメージ。
- ⑦〈フリースペース〉「発見と感動のフロア」
- ☆町民の方が自由に展示会、コンサート、研究の発表、絵画展、勉強の成果が発表できるつどいと成長のスペース。そして出会いのフロア
- ⑧喫茶店が欲しいです。多くの人に利用して欲しいので、コーヒーを飲みながら本を読めるスペースがあれば個人的には嬉しいです。武雄市のツタヤとスターバックスはやり過ぎだと感じるが、老若男女、多くの住民の利用を期待したいので、お手軽価格でコーヒーの

提供があれば受けると思います。

⑨長与の文化財の展示スペース

⑩展示スペース（郷土資料、地域関連作品等）の確保（常設）

新図書館の基本計画のフロアコンセプトの部分では乳幼児～高齢者が別々といったイメージを感じました。

滑石？のどこかわかりませんが、乳幼児～高校生までが交流できるスペースがあるみたいで
す。世代交流などの場所などあるとおもしろいと思いました。

p3 様々な世代との出会い、交流の場を創出とありますが、そのブースはどこで行うのか気
になりました。

一般開架ブースなどで小さい子どもや小学生が大人や高齢の方に、うるさいとにらまれる
ような図書館にはなってほしくないと思います。